

あり、一日市地区70haを灌漑するため馬場目川からポンプ揚水する。

1980.3出版 角川日本地名大辞典 5 秋田県

とりやさき

八郎潟町 真坂 ^{とりやさき}鳥屋崎
八郎潟町 浦大町 ^{とやさき}鳥屋崎

1. とりやさき

鳥屋「トリヤ」とは「山中で鳥を獲る人の小屋」を意味し、鳥屋、鳥谷の地名がある。

(1987年三浦鉄郎著「新編・秋田の地名」)

2. とりやさき

馬場目川の名残である沼地(鳥屋崎沼)があった。この沼から明治34年に平安末期の鏡が発掘されたが紛失した。(八郎潟町史)

3. とりやさき

この近くの小高い所に舟付き場があり、浦城の殿様が座ったという石の椅子があったという。浦城落城の時、奥方の小柳姫は近臣の者とここから舟で小池部落まで落ち延びたと云い伝えられている。

(1998/9 小池 斎藤甚之助談)

とよさか

八郎潟町 浦大町 ^{とよさか}豊坂

「豊」の付く地名は全国いたるところに見られ、「ユタカ」の意であろう。「サカ」は字句通り傾斜地の意。

(1987年三浦鉄郎著 新編・秋田の地名)

とりごえ

八郎潟町 真坂 ^{とりごえ}鳥越
1. 鳥越

秋田県内でも「鳥越」という地名は珍しくない。小坂町の鳥越は朱鷺の群れが越えていった土地だというのが語源。真坂の土地はどんな鳥が越えていったのだろうか。

(1988年 ぬめひろし著「地名譚」)

2. 鳥越

山頂と山頂をつないでいる尾根の中で、低まったところ、鞍部で渡り鳥などの群がよく通過する所の地名が鳥越であるというのが定説化しているが、山の鞍部、峠をタオと言い、タオゴエが転訛してトリゴエになったとする説もある。

県北から見ていくと、小坂町上向に鳥越、中鳥越、鳥越沢、・・・中略・・・、八郎潟町真坂鳥越、・・・象潟町横岡の鳥越と前鳥越の総計26。鹿角市毛馬内の取越は鳥越とは無縁だろうか。

(秋田魁新報 あきた地名ファイル311 斎藤廣志)

ナ 行

なかくぼ

八郎潟町 中久保

「クボ」は窪地^{くぼち}の意味。すなわち低湿地の意。「ナカ」は幾つかの新しくできた村や田畑の元の位置という意味と、それらの中心という意味がある。

(1987年三浦鉄郎著「新編・秋田の地名」)

なかじま

八郎潟町 ^{なかじま}中嶋
八郎潟町 小池 ^{なかじま}中島

1. なかじま